

健康に対する不安を解消

# 町の放射線対策

放射線量の測定・除染作業・食の安全



## 放射線対策を強化しています

町内99施設の公共施設等の放射線量を測定し、除染作業を実施しました。全ての施設で、毎時0.23マイクロシーベルト以下となりました。また、水道水（地下水）、給食と給食食材からは、放射線物質は「検出せず」という結果となりました。



## マイクロシーベルト(μSv/h)とは?

マイクロシーベルト(μSv/h)とは、放射線を表す小さな単位です。放射線によって人体に与えられたエネルギー量(被ばく量)を表すものを「Sv(シーベルト)」という単位で表します。

## 放射線等に関する対応方針

町では、住民の健康に対する不安を解消するため、放射線対策を強化しています。

## 放射線量の測定と低減対策を進めます

町では、昨年3月の東日本大震災に伴う、東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射線に



対する住民の不安や心配が高まっていることから、昨年6月から大気中の放射線量測定、水道水の放射性物質検査、埼玉

県による農産物検査などを実施し、その結果をホームページなどでお知らせしています。

また、子どもたちの健康に対する不安を解消するため、「三芳町における放射線量等に関する対応方針」を昨年11月24日に定め、子どもたちが利用する頻度の高い小学校、保育施設、子ども広場、公園など、子どもたちが集まる公共施設を優先して放射線量の測定と低減対策を現在も進めています。

## 放射線量を測定し32ヶ所で除染作業を実施

町の対応方針に基づき、周辺より放射線量が高いと予想される雨どいの下や雨水が集まりやすい場所、地表から5cmの高さの空間線量を測定しました。22施設で町の対策目標値である毎時0.23マイクロシーベルトを超える箇所が32箇所ありました。これらの箇所、速やかに除染等の対応を行った結果、全ての施設で、町の対策目標である毎時0.23マイクロシーベルト以下となりました。

なお、除去した土壌などは、厚手のビニール袋に入れ、ブルーシートで覆ったうえ、子どもたちが立ち入らない場所に埋設しました。今後も、測定を定期的に行い、安心・安全の確保を図っていきます。

## 食の安全を確認

水道水(地下水)、給食と給食食材からは、放射性物質「検出せず」という結果となりました。

## 水道水(地下水)

水道水は、埼玉県営水道からの県水(さいたま市の大久保浄水場)約70%、町内の井戸水(地下水)約30%を使用しています。三芳町の水道水の放射性物質濃度を測定した結果、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137は、いずれも「検出せず」という結果となりました。



## 給食と給食食材

給食は、小中学校が給食センターで、保育所が各施設で調理をしています。検査は、民間検査機関に委託しました。検査結果については町のホームページ、保護者へのお知らせや各施設に貼りだして公表しました。

町立保育所給食と町立小中学校給食で使用する食材の放射性物質濃度を測定した結果、ヨウ素131、セシウム134、セシウム137は、いずれも「検出せず」という結果となりました。※機器の検出限界は1kg当り10ベクレル

## 放射線と放射性物質はどう違うの?



世の中の全てものは、目に見えない小さな粒子から出来ています。その粒子が原子(元素)です。原子の中には不安定な状態のものがあり、自然に壊れて他の種類の元素に変わるものがあります。この時に、エネルギーを持った小さい粒子や電磁波を出します。これが「放射線」です。放射線を出す能力を「放射能」といい、また放射能を出す能力を持った物質を「放射性物質」といいます。

## 水道水(地下水) 給食食材等に含まれる放射性物質の測定結果

検査項目等	採取日	測定結果	問い合わせ
水道水(地下水)	3月13日	放射線物質不検出	上下水道課 内線252~253
保育所の給食食材(調理済)	3月13日	放射線物質不検出	こども支援課 内線162~164
学校の給食食材	3月9日	放射線物質不検出	学校給食センター ☎258-3550

## 放射線物質の基準

食品の安全と安心を、より一層確保するために、食品中の放射性セシウムが4月1日から新たな基準値となりました。  
【放射性セシウム】  
・飲料水10Bq/kg  
・牛乳、乳児用食品50Bq/kg  
・一般食品100Bq/kg  
※米や牛肉、大豆など経過措置期間があるものを除く。

## 簡易型放射線測定器の貸出

### 無料で貸出開始

町内に居住している方または、町内に事務所を有する個人及び法人の方が町内で空間放射線量を測定することに對して、簡易測定器(大気中の放射線量を測定する機器)の無料貸出しを開始しました。予約が必要です。

### 【機器】

(株)堀場製作所製 環境放射線モニタ RAI-1000Rad

### 【期間】

平日午前9時から貸出し、同日の午後4時までに返却(土・日曜日、祝日、年末・年始は除く)

### 【問い合わせ】

環境課環境対策係 (内線216)

## どんな放射線測定器を貸してくれるの?



私たちは日常、どのような場所でも暮らしの中から放射線を受けています。放射線には

主として、α(アルファ)線、β(ベータ)線、γ(ガンマ)線がありますが、専門の知識がなくても微弱なγ線を、簡単に測定できます。

貸出を行う測定器は、誰でも簡単に、空間線量率を測るのに適しているシンチレーション式の測定器です。